

研究機関名：東北大学

受付番号：	2013-1-559
研究課題名	当院におけるSAPHO症候群の臨床所見、診断、治療についての後ろ向き研究
研究期間	西暦 2014年03月（倫理委員会承認後）～2019年03月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（カルテ、画像データ、電子カルテデータ）
上記材料の採取期間	西暦2002年01月～2014年02月
意義、目的	<p>SAPHO 症候群は Synovitis, Acne, Pustulosis, Hyperostosis, Osteitis の頭文字をとった疾患で、その病態や治療法などは確立されていない。診断基準としては1. 瘰癧に伴う骨関節病変, 2. 掌蹠膿疱症に伴う骨関節病変, 3. 前胸壁, 脊椎, 四肢いずれかの骨肥厚症(Hyperostosis), 4. 脊椎, 四肢の慢性再発性多巣性骨髄炎(CRMO)のいずれか一つを満たせばよいとされる。疾患頻度はヨーロッパでは1万に1人, 本邦では数百万人に1人と報告されているが, 当大学病院には疾患頻度から予想される数よりも多いSAPHO 症候群の患者が来院されている。</p> <p>これまでの報告はヨーロッパを中心とした報告が主であり, 日本人の報告例は少ない。当病院では多くのSAPHO 症候群患者を有することから, SAPHO 症候群の特徴を知ることが, SAPHO 症候群の病態解明や治療法の開発への一助となり得ると考えた。</p> <p>本研究の目的は当院におけるSAPHO 症候群の臨床的, 画像的所見並びに治療効果を後ろ向きに解析することである。</p>
方法	<p>2002年1月から2014年2月までの12年間に東北大学病院整形外科で治療を行ったSAPHO 症候群患者の(電子)カルテ、レントゲン写真などを用いた後ろ向き研究である。これらから以下のデータを収集する。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 年齢、性、合併症の有無などの患者背景2) 発症形式、初診時の疼痛、白血球数、ESR/CRP、罹患部位、などの臨床経過。3) 画像所見4) 病理所見5) 治療法（投薬内容など） <p>これらをもとにSAPHO 症候群の臨床的, 画像的特徴ならびに治療効果を検討する。</p>
問い合わせ・苦情等の窓口	〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学医学部 整形外科 綿貫 宗則 電話 022-717-7245 FAX 022-717-7248